

- 問1 アメリカ大統領とソ連書記長が会談し、長年の冷戦の終結を宣言するに至った歴史的背景を説明したものととして、最も適切なものを選びなさい。
(2024年 宮崎公立入試 類似)
- ソ連において、国内の立て直しを図るための改革（ペレストロイカ）が進められ、西側諸国との協調路線に転換したこと。
 - ソ連がキューバに核ミサイル基地を建設したことで、アメリカとの間に核戦争の危機が高まり、軍縮の必要性が生じたこと。
 - 核兵器の開発競争においてソ連がアメリカを圧倒し、軍事的な優位性を確立したことで対立を続ける必要がなくなったこと。
 - 第二次世界大戦直後に東西ドイツの分断を決定した会談に基づき、両国の経済協力が順調に進んだこと。
- 問2 1955年から約38年間にわたって自民党が政権を担い続けた「五五年体制」が1993年に崩壊した際、細川護熙を首相として誕生した政権の形態として正しいものはどれですか。
(2023年 高知公立入試 類似)
- 日本社会党が過半数を獲得して組織した単独内閣
 - 自民党と日本共産党が政策協定を結んだ連立内閣
 - 自民党と共産党を除いた八つの党派によって構成された連立内閣
 - 憲法改正を目的として全政党が参加した挙国一致内閣
- 問3 1989年、分断された東西ドイツの象徴となっていたベルリンの壁が市民によって壊され、人々の喜びが世界中に報じられました。この出来事と同じ年に地中海の島で開催され、アメリカとソ連の首脳が長年続いた対立の歴史に幕を閉じることを合意した会談の名称と、その宣言内容の組み合わせとして適切なものはどれですか。
(2023年 熊本県公立入試 類似)
- マルタ会談において、冷戦の終結を宣言した
 - ヤルタ会談において、戦後のドイツ分割統治を決定した
 - ポツダム会談において、日本の無条件降伏を勧告した
 - マルタ会談において、ソビエト社会主義共和国連邦の解体を宣言した
- 問4 冷戦終結後の国際社会における日本の役割の変化について述べた文として、1992年に制定された法律の内容と背景を踏まえた適切なものはどれですか。
(2021年 佐賀公立入試 類似)
- 湾岸戦争での批判を背景にPKO協力を法制し、自衛隊による人的な国際貢献が可能になった。
 - 日米安全保障条約を改定し、自衛隊がアメリカ軍の作戦に全面的に協力することが義務付けられた。
 - サンフランシスコ平和条約を締結したことで、自衛隊が東南アジアのインフラ整備に動員された。
 - 国際連合への加盟が認められたことを受け、平和維持軍への参加を義務付ける国内法を制定した。
- 問5 北海道では、ある人々の文化を継承するために、木彫りの盆（イタ）や樹皮を用いた衣服（アットウシ）といった伝統工芸品の生産、独自の言語によるラジオ講座の放送、日本語と独自の言語を併記した地名表示板の設置といった取り組みが行われています。これらの取り組みの背景にある、この人々の特徴として最も適切なものはどれですか。
(2026年 青森公立入試 類似)
- 日本の先住民族であり、北海道の多くの地名の由来となるなど、独自の言語や文化を継承している。
 - かつて琉球王国を建国し、東南アジアや中国との中継貿易を通じて独自の文化を築いた人々である。
 - 明治時代に北海道の開拓と警備を目的として全国から集められ、現在の農村の基礎を築いた人々である。
 - 江戸時代に日本との交易を制限されていたが、明治以降に樺太から強制的に移住させられた北方領土の先住民である。
- 問6 1980年代末から1990年代初頭にかけての国際情勢の変化について、1989年にはユーラシア大陸北部の広大な領域を占めていた一つの国家が、1992年には複数の国境線で区切られた国々の集まりへと変化しました。この地図上の変化をもたらした歴史的出来事として、最も適切なものはどれか。
(2019年 三重公立入試 類似)
- ソビエト連邦（ソ連）の解体
 - ベルリンの壁の崩壊
 - ドイツの再統一
 - 東欧革命の発生
- 問7 1980年代後半、日本では土地や株式の価格が、実際の経済状況をはるかに上回って異常に高騰する現象が起きました。この現象を何と呼びますか。
(2024年 三重公立入試 類似)
- バブル経済
 - 高度経済成長
 - デフレーション
 - 石油危機
- 問8 1989年にアメリカとソ連の首脳が「冷戦の終結」を宣言するに至った、当時の国際情勢の説明として最も適切なものはどれですか。
(2024年 埼玉県公立入試 類似)
- 東ヨーロッパ諸国において、一党独裁体制を打倒しようとする民主化運動が急速に広がった。
 - ソ連がアフガニスタンへの軍事侵襲を開始し、西側諸国との緊張が最大に達した。
 - アメリカを中心とする北大西洋条約機構（NATO）が結成され、軍事的な優位性が確立した。
 - キューバ危機が発生し、核戦争の回避を目的とした核兵器制限交渉が始まった。
- 問9 沖縄県にある「平和の礎」には、2022年現在で合計24万人を超える人々の名前が刻まれています。この記念碑の運用実態について、統計的な背景から説明したものととして正しいものはどれですか。
(2023年 沖縄公立入試 類似)
- 沖縄県出身者の名前が約15万人と最も多いが、県外や海外出身者の名前も多数刻まれている。
 - 建設当初から刻銘される人数は固定されており、新たな名前が追加されることはない。
 - 氏名が判明していない犠牲者が多いため、現在は氏名ではなく出身地別の人数のみを刻んでいる。
 - 連合国側の犠牲者については、平和の礎とは別の施設に分けて名前が刻まれている。
- 問10 1990年代初頭に日本が国際平和協力法（PKO協力法）を制定し、自衛隊をカンボジアへ派遣するに至った歴史的背景として、最も適切な説明はどれですか。
(2021年 和歌山公立入試 類似)
- 湾岸戦争での多額の資金援助が国際的に評価されず、人的貢献が求められるようになったため。
 - 冷戦の影響でベトナム戦争が激化し、東南アジアの安全保障を強化する必要があったため。
 - 日米安全保障条約の改定により、自衛隊がアメリカ軍を直接支援する義務が生じたため。
 - 国連からの要請ではなく、日本独自の平和維持活動をアジア全域で展開するため。
- 問11 一九九一年にソ連が解体に至った主な背景として、当時の国内状況を説明したものととして最も適切なものはどれですか。
(2023年 山梨公立入試 類似)
- 社会主義体制のもとで経済成長が著しく、国民がさらなる自由を求めたため
 - 政治や経済の改革が思うように進まず、社会が混乱して各共和国の独立を招いたため
 - 他国からの大規模な武力攻撃を受けて、連邦政府が機能を停止したため
 - すべての共和国が連邦の維持を強く望んだが、国際連合の命令により解体されたため
- 問12 1940年代後半から始まった、アメリカを中心とする資本主義陣営とソ連を中心とする社会主義陣営の対立である「冷戦」について述べた次の文のうち、1980年代末の動向として正しいものはどれですか。
(2015年 佐賀公立入試 類似)
- 1989年にベルリンの壁が崩壊し、これを象徴として冷戦は終結に向かった。
 - 1989年にベトナム戦争が勃発し、冷戦がさらに激化した。
 - 1989年にベルリンの壁が築かれ、これによって冷戦が始まった。
 - 1989年にソ連によるアフガニスタン侵襲が始まり、冷戦が再燃した。

答え合わせ・解説

| | | |
|-----|-----------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 問1 | 答え 1 ソ連において、国内の立て直しを図るための改革（ペレストロイカ）が進められ、西側諸国との協調路線に転換したこと。 | 1980年代後半、ソ連のゴルバチョフ書記長が推進した「ペレストロイカ（改革）」により、停滞していたソ連国内の経済・社会を立て直すため、アメリカとの対話が進みました。この流れの中で1989年にマルタ会談が開かれ、長年の対立関係を解消することで合意しました。他の選択肢にあるキューバ危機やベルリンの壁の建設などは、冷戦の緊張が高まっていた時期の出来事です。 |
| 問2 | 答え 3 自民党と共産党を除いた八つの党派によって構成された連立内閣 | 1990年代初頭、政治汚職事件などを背景に自民党への批判が高まり、1993年の総選挙で自民党が過半数を割り込みました。その結果、日本社会党や日本新党など、自民党と共産党以外の勢力が結集し、細川護熙を首班とする非自民・非共産の連立内閣が成立しました。これにより、1955年から続いていた自民党の一党優位体制（五五体制）が一時的に終焉を迎えました。 |
| 問3 | 答え 1 マルタ会談において、冷戦の終結を宣言した | 1989年に東西分断の象徴であるベルリンの壁が崩壊したことを受け、同年に開催されたマルタ会談でアメリカのブッシュ大統領とソ連のゴルバチョフ最高会議議長が対談しました。この場で、第二次世界大戦後から続いていた資本主義陣営と社会主義陣営の対立構造である「冷戦」の終結が公式に宣言されました。ソ連の解体は1991年の出来事であり、会談での宣言内容とは区別する必要があります。 |
| 問4 | 答え 1 湾岸戦争での批判を背景にPKO協力を制定し、自衛隊による人的な国際貢献が可能になった。 | 冷戦が終わると、国際紛争の解決に日本がどう関わるかが問われるようになりました。1991年の湾岸戦争で「小切手外交」と揶揄された反省から、1992年にPKO協力が成立し、同年中にカンボジアへの自衛隊派遣が実現しました。これは日本の戦後外交における大きな転換点となりました。 |
| 問5 | 答え 1 日本の先住民族であり、北海道の多くの地名の由来となるなど、独自の言語や文化を継承している。 | 北海道の「サッポロ（乾いた大きな川）」や「ノボリベツ（色の濃い川）」といった地名は、アイヌ語に由来しています。設問にある伝統工芸や言語の学習、地名の併記などは、明治時代以降の同化政策によって失われかけたアイヌ民族のアイデンティティを再認識し、先住民族としての文化を次世代へつなぐための重要な施策です。 |
| 問6 | 答え 1 ソビエト連邦（ソ連）の解体 | 第二次世界大戦後、アメリカ合衆国と並ぶ超大国として冷戦の一翼を担った社会主義国家が、1991年末に消滅した出来事を指します。この結果、広大な領土を統治していた中央政府がなくなり、ロシア連邦やウクライナ、中央アジアの諸国など、15の共和国がそれぞれ独立したことで地図上の国境線が大きく書き換えられました。 |
| 問7 | 答え 1 バブル経済 | 1980年代後半に発生したこの現象は、中身のない泡が膨らむ様子に例えて「バブル経済」と呼ばれます。銀行からの融資が不動産や株式の購入に充てられ、実体経済を伴わない価格上昇が続きました。1950年代半ばから1970年代初頭まで続いた「高度経済成長」とは、その背景や発生時期が明確に異なります。 |
| 問8 | 答え 1 東ヨーロッパ諸国において、一党独裁体制を打倒しようとする民主化運動が急速に広がった。 | ソ連のゴルバチョフ書記長が進めた改革（ペレストロイカ）をきっかけに、ポーランドやハンガリーなど東欧の社会主義国で自由化・民主化を求める運動が激化しました。1989年11月には冷戦の象徴であった「ベルリンの壁」が崩壊し、ソ連の影響力が弱まったことが、同年12月のマルタ会談における冷戦終結宣言の決定的な背景となりました。 |
| 問9 | 答え 1 沖縄県出身者の名前が約15万人と最も多いが、県外や海外出身者の名前も多数刻まれている。 | 2022年時点の統計によれば、刻銘者の内訳は沖縄県出身者が約15万人で最も大きな割合を占めますが、日本国内の他県出身者、さらにはアメリカ、イギリス、韓国、北朝鮮、台湾といった海外出身者の名前も数万人規模で含まれています。また、調査によって新たに身元が判明した犠牲者の名前は現在も追加で刻み続けられており、刻銘者数は年々増加しています。 |
| 問10 | 答え 1 湾岸戦争での多額の資金援助が国際的に評価されず、人的貢献が求められるようになったため。 | 1990年に発生した湾岸戦争に対し、日本は130億ドルにのぼる多額の資金援助を行いました。この「顔の見えない貢献」からの脱却を目指し、国連の平和維持活動に積極的に参加するための法的枠組みとして国際平和協力が制定されました。 |
| 問1 | 答え 2 政治や経済の改革が思うように進まず、社会が混乱して各共和国の独立を招いたため | 一九八〇年代後半から、ソ連ではペレストロイカ（改革）と呼ばれる政治・経済の立て直しが進められました。しかし、この改革が経済的な混乱や食料不足を招き、政府への不満が高まったことで、連邦からの離脱を求める各共和国の独立運動に拍車がかかることとなりました。 |
| 問1 | 答え 1 2 1989年にベルリンの壁が崩壊し、これを象徴として冷戦は終結に向かった。 | 第二次世界大戦後、世界はアメリカとソ連をそれぞれリーダーとする二つの陣営に分かれて対立していましたが、1980年代末になると東欧諸国で民主化運動が高まりました。1989年のベルリンの壁崩壊は、分断の象徴が失われたことを意味し、同年に行われたマルタ会談での冷戦終結宣言へとつながる決定的な出来事となりました。ベトナム戦争は1960年代から70年代にかけての出来事であり、冷戦の始まりは1940年代後半のことです。 |